

1. スキーヤーが選べる安全と道具の調整による安全

スキーの安全を道具選びの観点から考える場合には、スキーというスポーツが包含する危険を如何に回避するかという観点に立って考えると理解しやすいと思います。そして、スキーというスポーツの定義は、「滑るスピードをスキーヤーが自由にコントロールし、更に、自由に曲がったり、止まったりすることによって得られることの充足感・快適性を味わう」と言えると思います。従って、スキーが内包する危険を回避するためには、原則的には「滑る」・「止まる」・「曲がる」の3要素によって確保されるべきであり、もう一方で、転倒時の安全確保という要素が存在します。即ち、前者は、スキーヤーの技量と用具との性能上の適合性の問題が重要であり、後者はスキーヤーの体格・技量とスキー板・ビンディング・ブーツの調整の問題が重要となります。言い換えれば、前者はスキーヤーの技量と目的に適合した道具を選ぶことが、安全にスキーを楽しむための重要な要素であるということが出来ますし、後者はスキーヤーの体格・技量によって、転倒時にビンディングを安全に解放させるための取付け・調整が重要な要素であるということになります。

2. S-B-B システム

転倒時の安全の確保については、スキーヤーがコントロールを失った状態で起きる事であるので、その場合の安全確保は極めて重要であります。現在は、ビンディングを解放させ、スキー板を離脱させる事によって転倒時に脚部にかかる負荷を軽減させて、その損傷を防止しようとする事が行われています。いわゆる「ビンディングの解放値設定」といわれる事がこの作業の中心であります。この解放値の選択は、スキーヤーの経験や勘で行われるべきものではなく、現在では、ISO 11088 (ISO= the International Organization for Standardization 国際標準化機構) によって、このビンディングの解放値設定の基準が設定されており、この ISO 11088 の内容を S-B-B システムと呼んでいます。S-B-B システムとは、アルペン用のスキー板・ビンディング・ブーツのそれぞれを構成部品と見ることによって、そのトータルで安全を確保しようとするものです。この意味するところは、アルペンスキーでは、それぞれの構成部品であるスキー板・ビンディング・ブーツが三位一体となって最終的にその性能を発揮するものと考え、

- ① スキー板とビンディングを確実に固定すること。
- ② ブーツとビンディングが確実に固定されること。
- ③ ビンディングがそれぞれのトルク値に応じて適正に解放すること。
- ④ スキーヤーの特性に応じたビンディングの適正な解放値の選択方法に、大別され詳細に規定されています。

3. ワークショップチケット

S-B-B システムの具体的な運用例としてワークショップチケットがあります。これは、スキーヤーがスキーを購入するときに販売店がスキーヤーに発行しているチケットです。現在、我が国で発行されているワークショップチケットは、日本スキー産業振興協会が ISO 11088 に準拠し、欧米で発行されているワークショップチケットと同じレベルで作成したものです。内容は、ISO 11088 による、体重による方法を採用しています。このワークショップチケットの趣旨は、スキーヤーと販売店のスキー板・ビンディング・ブーツの取付け・調整に関わる責任の限界を示したものであります。

すなわち、スキーヤーの申告に基づいて、販売店が国際基準に従って適正な取付け・調整が行われたことを相互に確認し、販売店の免責条件を明らかにしたものであり、スポーツに親しむ者の自己責任の原則を明確にしたものです。このような見地から、ワークショップチケットが欧米のようにレンタルスキーやスキースクールでも活用されることが望ましいと思われれます。

ここで、製造物責任法について触れておく必要があります。製造物責任法では、製造業者がその責任主体であると規定しておりますが、同時に加工業者が製造物責任の責任主体になる場合も規定しております。従って、スキー板・ビンディングの取付け作業とそれに伴うそれぞれの調整作業が、製造物責任法上の加工の概念にあたる可能性もあり、ワークショップチケット上での相互の確認が、責任の所在を明確化する意味で重要な役割を果たすこととなります。現状では、これまで説明した国際標準化機構 (ISO) によって定められた基準でも、スキーに伴うあらゆる危険をすべて回避できるものではありませんし、先進技術を持って開発されたビンディングでさえも、全方位に対する安全解放が保障されているわけではありません。従って、ワークショップチケットによる相互確認作業は、重要な意味を持ちます。

各部品であるスキー板、ビンディング、ブーツそれぞれのメーカーは、各々のメーカーが商品毎の製造物責任を負いますが、スキー板とビンディングの取付け・それに伴う調整作業が販売店で行われ、レンタルスキーショップにおいても貸出し窓口で販売店と同様の作業が要求され、更にスキースクールでは、指導者による安全確認の一環として、受講者のスキー板・ビンディング・ブーツの正常確認の必要性を考えると、ワークショップチケット制度は、スキー業界の健全な成長に必要な制度であると言えます。

[注1] 当ワークショップチケットには、販売店様の取付け・調整に関わる過失を原因とし、第三者に損害を生じた損害を補填する保険が付保されています。詳細については別表をご参照ください。

[注2] 当ワークショップチケットの文言は、当協会に属する知的財産であります。当協会の許可なく転載、複製使用されることがないようにお願いいたします。

4. 賠償責任保険について

- ① 本保険は JSP 主催による S-B-B 認定整備技術者セミナー認定者のみ適用されます。また該当する製品が日本スキー産業振興協会主催の SBB 認定整備技術者セミナー参加ブランドのビンディングに限り適用されます。
- ② 保険のあらまし
販売店（被保険者）が行うビンディングの取付けが原因で、販売後に発生した事故によって第三者の身体・生命を害したことにより被保険者が負担する賠償損害をてん補する保険です。
- ③ 保険金が支払われる事故（具体例）
(1) ビンディングの取付け方法を誤ったことが原因でスキー中にスキー板がはずれてスキーヤーが骨折した。
(2) ビンディングの取付け方法を誤ったことが原因でスキー中にスキー板がはずれて他のスキーヤーにケガをさせた。
(3) 保険金が支払われない主な場合
(1) 保険契約者・被保険者の故意による事故（重過失は対象になりますが、法令に違反して販売等された場合の賠償責任は対象外）
(2) 戦争・天災（地震、噴火、洪水、津波等）による危険に起因する事故
(3) 被保険者と他人との間に損害賠償に関し特別の約定がある場合において、その特約によって加重された賠償責任
(4) 排水・排気に起因する事故
- ④ 契約形態
日本スキー産業振興協会を保険契約者とする団体契約方式・保険期間は作業日から1年間。
- ⑤ てん補限度額
1名1億円・1事故5億円（免責金額1,000円）

[申し込み方法・その他]

1. ワークショップチケットは、「注文書」に〈配達先〉並びに希望の数量になるように、種類項目の〈セット数〉と〈合計金額〉を記入し、下記4の業務委託業者専用アドレスにメールにて直接ご注文下さい。
業務委託業者は、配達時の代金引換にてワークショップチケットをお届け致します。
2. 代引きは、1セットにつき30万円を超えると扱えませんが出来ません。例えば、10,000枚必要な場合には、5,000枚（組）を2セットご注文下さい。（領収書は分割となります。）
3. 料金には、一組あたり30円のワークショップチケット代他に梱包諸経費、消費税を含みます。
4. お申し込み先：
株式会社マイクス企画広告事務所 日本スキー産業振興協会ワークショップチケット係

ご注文専用メールアドレス：jsp-wst@maiks.co.jp

5. 内容その他に関するお問合せ先：
日本スキー産業振興協会 事務局
〒111-0034 東京都台東区雷門 2-19-17 浅草雷一ビル 506号
TEL：03-5827-7880
FAX：03-5827-7881
E-mail：info@ski-jsp.jp
担当者 藤崎 もしくは、各ビンディングメーカー担当者にお尋ね下さい。
6. ご注文受付は、随時承っております。

セット枚数	100枚	500枚	1,000枚	2,000枚	5,000枚
品代金	¥3,000	¥15,000	¥30,000	¥60,000	¥150,000
諸経費	¥1,000	¥1,000	¥1,500	¥2,500	¥5,500
料金小合計	¥4,000	¥16,000	¥31,500	¥62,500	¥155,500
消費税(10%)	¥400	¥1,600	¥3,150	¥6,250	¥15,550
印紙代	-	-	¥200	¥200	
料金合計	¥4,400	¥17,600	¥34,650	¥68,950	¥171,250
個数	1個口	1個口	2個口	4個口	10個口

※消費税は出荷時の消費税率となります。
※クロネコ便の代引伝票に記載される内消費税額は、便宜上セット料金の内8%となりますが、実際の明細は上記の通りです。

注：代金引換方法による配達は、一件につき30万円を超えると扱えませんが出来ません。
(例：10,000枚必要な場合には、5,000枚（組）を《2セット》ご注文ください。)

ワークショップチケットの注文方法

下記の内容を記載の上 jsp-wst@maiks.co.jp 宛に メールにて注文をお願いいたします。

- ①【タイトル】 ワークショップチケット注文書
- ②【社名 / 支店名】
- ③【郵便番号】 〒 -
- ④【配送先住所】
- ⑤【電話番号】
- ⑥【ご担当者名】
- ⑦【発注部数】 (組数) × (セット数) ※下記の表をご参照ください。
- ⑧【言語の希望】 日本語版 英語版 ※いずれかを記載してください。

種類(組数)	セット料金	(内消費税)	組数×セット数	参考単価
100	¥4,320	¥320	100× ()	¥43.2
500	¥17,280	¥1,280	500× ()	¥34.56
1,000	¥34,020	¥2,520	1,000× ()	¥34.02
2,000	¥67,700	¥5,000	2,000× ()	¥33.85
5,000	¥168,140	¥12,440	5,000× ()	¥32.63

発送が完了後、メールにてご連絡させていただきます。

5営業日(土日祝日を除く)過ぎても発送完了メールが届かない場合はお手数おかけいたしますが再度ご注文いただくか、日本スキー産業振興協会 info@ski-jsp 宛にメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

※迷惑メールフィルターの設定をされている場合、発送完了メールが届かない可能性があります。
迷惑メールフォルダをご確認いただくか、ワークショップチケット事務局のメールアドレスを受信できるよう、予め設定変更をお願いいたします。

ご注文専用メールアドレス：jsp-wst@maiks.co.jp
日本スキー産業振興協会 WST 事務局